推し活グッズ × AR

推しが、
目の前に現れる。

アプリ不要。グッズにかざすだけで、
推しが動く・話す・会いに来る。

アプリ不要
既存グッズに後付けOK
グッズ製作からも相談OK

特許取得「Wトリガー」対応



ブラウザ型AR「ONCARD」導入のご案内 ｜ 株式会社HK STYLE

これからの推し活グッズ

ファンが求めているのは、「モノ」＋「体験」。

推しに会えた、推しと過ごせた。その「体験」が思い出になります。これからのグッズに必要なのは、手に取ったあとの体験をつくることです。

これまで

体験をつくる ＝ イベントを開く

- 会場費・人件費など、1回ごとに大きなコストがかかる
- その日、その場所に来られる人しか参加できない
- 終わってしまえば、体験もそこで終わり

ONCARDなら

グッズから、体験が生まれる

- グッズを手にしたら、その場ですぐ推しに会える
- 会場に来られない遠方のファンにも、同じ体験を届けられる
- 公開期間を決めて、「今だけ」の特別な体験にできる

こんなお悩みありませんか？

グッズ、「買って終わり」になっていませんか？

01

新しいグッズを企画するたびに、デザインも在庫も増えていく

付加価値をつけたいけれど、製造コストや在庫リスクは増やしたくない。

→ 今あるグッズにARを後付け

02

グッズを手にしたファンの反応が、SNSに広がらない

撮りたくなる、見せたくなる仕掛けがないと、話題は購入した瞬間で止まってしまう。

→ 撮って、シェアしたくなる体験に

03

イベントが終わると、熱が冷めてしまう

会場での体験を、帰宅後や次のリリースまでつなぎ続けたい。

→ 次のリリースまで、新しい体験でつなぐ

ONCARDとは

スマホをかざすだけ。グッズが推しに会える入口に。

ONCARDは、印刷物・グッズ・パッケージなどから、動画・画像・音声・キャラクター・Webサイトへのリンクを表示するブラウザ型ARサービスです。ファンは専用アプリをダウンロードせずに、すぐ体験できます。

1

QRコード・NFCを読み取る

グッズや台紙に付いたQR、またはNFCにスマホをかざします

2

カメラを起動

ブラウザでそのままARカメラが開きます

3

グッズにかざす

絵柄を認識して、推しが目の前に現れます

アプリのインストールは不要です

できること

グッズから、こんな体験が飛び出します。

キャラクターが現れる

イラストや動画のキャラクターが、グッズの上に飛び出すように登場。衣装替えや動きも演出できます。

限定動画・MV

CDジャケットの上でMVが流れる、ライブ映像やメイキングを見られるなど、映像特典に。

限定ボイス

グッズを持っている人だけが聞ける、推しからのメッセージやボイスを届けられます。

エフェクトで盛り上げる

ハート、桜、紅葉、雪。季節やイベントに合わせた演出で、撮りたくなる画面に。

SNS・通販へつなぐ

YouTube、TikTok、Instagram、ECサイトへのボタンをAR画面に。体験からそのまま次の行動へ。

推しと会話も

ARからAIへつなぐ仕組み「OLA」で、推しとのAIトークやチャットへ。案内や問い合わせ対応にも。

SPONSOR

スポンサー表示も、ARでアクションできる広告に。

グッズや会場のAR画面に、スポンサーのロゴやバナーを表示できます。タップすると公式サイトに移動したり、紹介動画が流れたり。ファンの「見る」が、そのままスポンサーへの「行動」につながります。

- ロゴ・バナーの表示
- 公式サイト・キャンペーンへのリンク
- スポンサー動画の再生



対応グッズ

いつものグッズが、そのままARに。



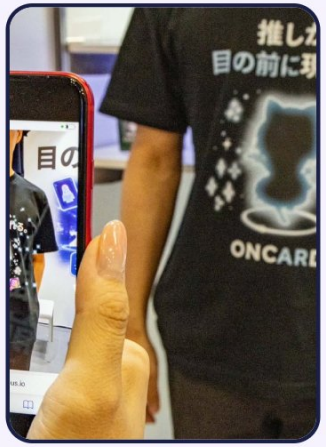
肉眼



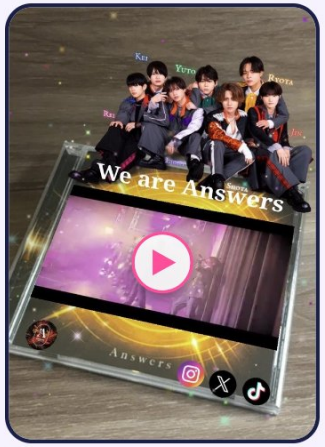
スマホ越し



ボトル



Tシャツ



CDジャケット



本・写真集

印刷された絵柄をそのまま認識するので、既存のグッズにも後からAR体験を付けられます。

肉眼ではいつものアクスタ。
スマホ越しだと、限定衣装の推しに。

会員証　カード　キーホルダー　缶バッジ　ステッカー　ポスター　タペストリー　トートバッグ　カレンダー
コースター　パンフレット　パッケージ　チケット



推し活EXPO2026 会場での実例

店舗・イベント会場でも

推しは、会場にも現れる。

店頭のPOPやパネル、会場の看板やポスターにかざせば、その場所に推しが登場。「行かないと会えない」体験が、来店・来場のきっかけになります。

ショップ・ポップアップストア　店頭POPや等身大パネルから推しがお出迎え

コラボカフェ・飲食店　メニュー表やコースターから、来店した人だけの演出

ライブ・イベント会場　会場のバナーやフォトスポットで、その日だけのARを

街なか・聖地巡礼　ゆかりの場所や看板を巡るスタンプラリー

大がかりな装飾なしで、コラボできるお店が広がる

メニュー表やコースター、卓上POPひとつで「推しがいるお店」に。全国チェーン店や小規模な飲食店ともコラボしやすく、大型IPでなくても気軽に導入できます。

特許取得「Wトリガー」のしくみ（特許第7923054号）

2つ揃ったときだけ、特別な推しが現れる。

① NFCでARカメラ起動



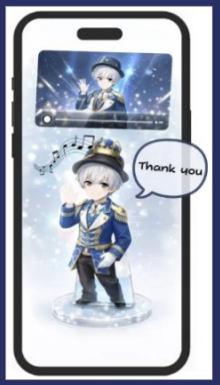
NFCグッズにスマホをかざすと、ARカメラが起動します

② 対象のグッズを認識



アクスタやボトルなど、指定のグッズをカメラで認識

③ 限定コンテンツを解放



特典イラスト・特典映像・特典ボイスが出現！

NFCグッズ（デジタル）× グッズ（リアル）＝ 限定コンテンツ

2つのトリガーを組み合わせることで、不正な読み取りを防ぎ、限定感を演出できます。

Wトリガーで、販促・イベント集客に

見る理由、買う理由、行く理由をつくる。

NFCグッズ		ARグッズ	解放される特典
	×		**限定動画** キーホルダー × コースター（キャラA ver.）
	×		**限定ボイス** キーホルダー × ボトル（キャラA ver.）
	×		**コラボ特典** 違うキャラクター同士（A&B） 

見る理由
持っている人だけが見られる限定AR

買う理由
組み合わせで特典が変わり、セット購入・コンプリートを後押し

行く理由
会場・店舗のポスター×グッズで、来場・来店者限定AR

Wトリガー特設ページ
wtrigger.
hkstyle.co.jp

組み合わせによって特典が変わるから、集める楽しさが広がる！同じキャラクターでもグッズの種類で特典が変わり、別キャラクターのグッズ同士ならコラボ特典も。

OLA | ONCARD Link Agent

特許出願中

ARから、推しとの“会話”へ。

OLAは、ARからAIへつなぐ仕組みです。ARに現れた推しの画面から、AIトークなどのAIサービスへスムーズにつなげます。



OLAでつなげる体験の例

推しと通話でトーク
AR画面の電話ボタンから、推しAIと話せる

AIチャットで質問
推しに聞きたいことを、チャットで

店舗・イベントの案内
会場案内や問い合わせ対応にも

※OLAはAIアプリではなく、ARとAIを“つなぐ仕組み”です。自社で開発したAIはもちろん、他社のAIサービスにもつなげられます。

ジャンル別活用例

あなたの“推し”なら、どう使う？

W ＝ Wトリガーを使った企画

アイドル

ライブの熱を、グッズに閉じ込める

会場で買ったアクスタから、メンバーのお礼メッセージ動画

W　ランダム缶バッジ×ペンライトでソロ映像が解放

VTuber

画面の向こうの推しが、手の中に

誕生日グッズは、当日だけ特別な演出に切り替え

W　2人のコラボグッズを揃えると掛け合いボイス

アニメ・漫画

原画から、キャラクターが飛び出す

コミックスの表紙を写すと、キャラクターが本の上に登場

W　カフェのコースター×グッズで来店者限定の演出

スポーツ

スタジアムの感動を、家でももう一度

タオルにかざすとゴールシーン。スポンサー表示も

W　シーズンチケット×看板で来場者限定AR

芸能人・俳優

写真集の、その先が見える

写真集やパンフレットから、撮影のメイキング映像

W　会員証×カレンダーで毎月の限定メッセージ

ゲーム

キャラクターが、現実の世界にログイン

アクスタにかざすと、キャラクターが動き出す演出

W　限定BOX×特典カードで隠しキャラクターが出現

導入メリット

IP・グッズ事業者さまに選ばれる理由

01

今あるグッズに後付けできる

絵柄をそのまま認識するので、デザイン変更や再製造は不要。既存の在庫にも付加価値を。

02

アプリ不要でファンが迷わない

ブラウザで動くので、インストールの手間で離脱されません。会場でも自宅でもすぐ体験。

03

期間限定で「今買う理由」に

その時期に手にした人だけの体験に。期間が終われば、あとから中古で手に入れても同じ体験はできません。

04

SNSや通販へ、そのまま誘導

体験の画面から、公式SNSや通販ページへ。グッズが次の購入やフォローの入口に。

05

「揃える」動機をつくれる

特許取得のWトリガーで、2つのグッズが揃ったときだけ解放される特典を。

06

お手持ちの素材を活かせる

イラスト・動画・ボイスなど、公式の素材をそのままARに。見せ方はAR演出の企画からご提案します。

グッズの用意は

どちらでもOK！

A

グッズは別発注でもOK

いつもの製作会社さんで作ったグッズや、すでにお持ちのグッズに、ARだけを付けられます。

B

グッズ製作からご相談OK

アクスタ、缶バッジ、Tシャツ、NFCカードなど、グッズ製作からARまでワンストップでご相談いただけます。

料金の考え方

初期制作費用 ＋ 運用費のシンプルな形です。

はじめに

初期制作費用

AR演出の設定にかかる費用です。エフェクトなどの装飾は、初期制作費用に含まれます。

＋

公開期間中

運用費

月額または年額。公開期間の目安は3か月〜1年程度で、イベント当日だけの1日限定公開もできます。

別途お見積もり

- ARで表示する動画・画像などの素材を新たに用意する必要がある場合
- 3Dアバターモデルの制作（費用・納期ともにご相談）
- グッズ製作（ご希望の場合）

内容・数量・公開期間によって変わるため、金額は個別にお見積もりします。お気軽にご相談ください。

導入の流れ

ご相談から公開まで

STEP 1

お問い合わせ

資料請求・ご相談はお気軽に

STEP 2

ヒアリング・お見積もり

グッズの種類や数量、やりたい体験をうかがいます

STEP 3

素材のご用意・AR演出

お手持ちのイラスト・動画・ボイスでAR演出を組み立てます

STEP 4

グッズ製作・設定

グッズは別発注でも、まとめての製作でもOK。絵柄の登録やQR・NFCの準備

STEP 5

公開・運用

公開後の差し替えや追加もご相談ください

少ない数量やお試しでもご相談ください。グッズの種類や数量、ご希望の体験に合わせてご提案します。

FAQ

よくある質問

Q. スマホの通常のカメラで読み取れますか？

いいえ。QRコードかNFCでONCARDのARカメラを起動してから、グッズにかざします。

Q. QRコードは必須ですか？

入口としてQRかNFCが必要です。QRは台紙や同梱カード、店頭POPでもOK。Wトリガーなら全グッズにQRは不要です。

Q. どんな内容を表示できますか？

基本は動画・画像・リンクボタンの組み合わせです。音声やBGMも流せます。3Dアバター制作は別途ご相談です。

Q. ARはいつまで見られますか？

企画に合わせて設定します。目安は3か月〜1年程度で、イベント当日だけの公開もできます。

Q. ARが付けられないグッズはありますか？

鏡面・ホログラムなど反射が強いものや、光や角度で絵柄が変わるものは不向きです。台紙を認識させる方法などをご提案します。

Q. すでに販売中のグッズにも付けられますか？

はい。印刷された絵柄をそのまま登録するので、デザインを変えずに後から付けられます。

会社概要

株式会社HK STYLE

社名	株式会社HK STYLE
代表取締役	木村 華
設立	2016年（平成28年）12月5日
資本金	1,000,000円
所在地	〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神4-4-26 天神吉柳ビル7F
事業内容	ARプロモーション事業［ONCARD］ デジタルコンテンツ企画・制作・運用 シネアド（映画館広告）の取扱い 建築DX支援（3D・CG・BIM・XR・AI）
特許	Wトリガー（特許第7923054号） OLA ONCARD Link Agent（特許出願中）



代表取締役

木村 華

bSIプロフェッショナル認定（Basic）

沿革

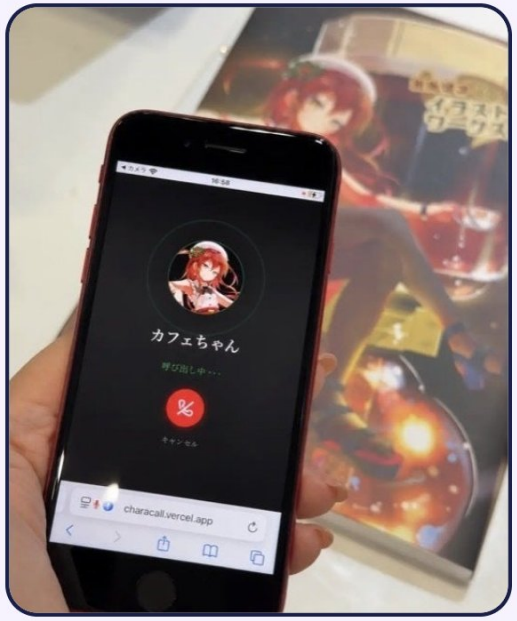
2014.04	HK Style デザインオフィス創業
2016.12	株式会社HK STYLE設立。 建築3DCG・BIM事業 Lumion公式セミナー講師
2025.09	ONCARDリリース
2026.01	特許出願（Wトリガー・OLA）
2026.02	Wトリガー・OLA公開
2026.06	**推し活EXPO**出展（東京ビッグサイト）
2026.09	**Wトリガー特許取得**（特許第7923054号）

協業パートナー

推しと“話せる”体験を、一緒につくる。



① 単行本の表紙から、ARでキャラクターがボイス付きで出現



② AR上の電話ボタンから、キャラクターとAIトーク

※写真は推し活EXPO2026で展示したデモ段階の画面です。現在の「推しボイス」アプリの画面とは異なります。

株式会社Mewton

推しボイス

App Storeで配信中

推しのAIと通話で話せるアプリ。ONCARDのARから、推しとのAIトークへつなぐ連携を進めています。

声優さんにも収益が還元される仕組みを目指しています。

推し活EXPO2026で連携デモを展示

ONCARDのOLAを通じて、ARの体験から推しとの会話へ。今後も協業して、ファンが推しと“話せる”体験を広げていきます。

CONTACT

推しに会える体験を、あなたのグッズにも。

グッズの種類や数量、実施時期、やりたい体験をお知らせください。グッズ製作からのご相談も歓迎です。金額は内容に合わせてお見積もりします。

お見積もり・ご相談

お問い合わせフォーム
hkstyle.co.jp/oncard

メール

info@hkstyle.co.jp

推し活AR：oshi.hkstyle.co.jp
Wトリガー：wtrigger.hkstyle.co.jp